

「躯体コスト勉強会」報告書

先日受講の躯体コスト勉強会に関する報告をいたします。

記

1. 開催日時 :令和1年7月26日(金) 14:00~17:00
2. 開催会場 :弊社 2階会議室
3. 講師 :大手ゼネコン積算部OB
4. 参加者 :21名(弊社社員、協力事務所様ほか)

5. 勉強会目的

- 構造設計実務者が自らコストプランニングを行い、概算金額が事業予算と乖離している場合においては、早期に提案できるようになる。
- 施主や意匠実務者と躯体コスト増減の打合せができるようになる。
(今回の対象建物は、RC造は中層共同住宅14階程度、S造は低層物販・物流3階程度)

6. 勉強会内容

- ① コストの基本
- ② 躯体の歩掛り
- ③ 材料単価・資材動向・納期
- ④ 免震のコスト
- ⑥ 基礎・杭のコスト
- ⑦ 構造(躯体)のVEについて
- ⑧ 免震構造と耐震構造の建設費について

7. 勉強会での習得事項および感想

勉強会では、「ライフサイクルコスト、建設費に占める躯体費割合」「坪単価、施工延べ面積」などの基本的な内容から、「躯体費の分類、内訳」「コストを左右する大きな要因」「一般的な歩掛り」「材料単価の動向」「VE 提案の考え方」「規模ごとの免震と耐震の建設費比較」などの実務に直結するような具体的な内容まで多岐にわたりました。

今回のように、コストについて熟知された方から直接お話を伺うことは初めての経験でしたが、講師の方より今まで蓄積された知識および資料を基に大変貴重なお話を丁寧にご説明いただき、私にとって非常に有意義な勉強会となりました。

躯体費については、構造種別、架構形式、二次部材計画、基礎工法など構造設計者の一つ一つの判断が大きく影響してくることを、改めて感じました。

今回の勉強会をきっかけに、躯体コストに関する意識を高めるとともに、自らコストプランニングできるように構造設計者としてのプロ意識をもって取り組んでいきたいと考えています。

以上